

1 指導概要

教科		科目		
英語		English Communication III	単位数：4単位	
指導目標：外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。				
メディア視聴	あり	60%	教科書	東京書籍 All Aboard! English Communication III
スクーリング	単位時間×16回	合格時間数 16時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用
レポート	全12回	合格枚数12枚	副教材	NHK 高校講座
回	高校通信教育講座 (単元・学習内容)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)	
No.1	Lesson 1 Gifts to Barcelona ガウディが設計した建築物の概念や特徴と、バルセロナにおけるその意味について学習する。	第1回 (5/15)	第1回	to 不定詞/動名詞を用いた文の形・意味を理解している。また海外の有名な建物について学び、建築物について英語で整理・理解できる。バルセロナの建物を英語で説明するビデオを視聴し、自分の意見を表現しようと試みる。
No.2	Lesson 2 Akkami 北海道の野性動物観察ツアーガイドの説明を通して、エゾモモンガやアイヌの人々について学習する。	第2回 (5/30)	第2回	現在完了形を用いた文の形・意味を理解している。また、北海道のエゾモモンガやアイヌの人々について学び、生き物について調べた事柄を整理し、周りに伝えようとする。
No.3	Lesson 3 Your True Colors 衣服の働きと自己表現のファッションを学ぶ。自分の衣服について簡単に説明出来る。	第3回 (6/15)	第3回	使役動詞を用いた文の形・意味を理解している。また、衣服の働きと自己表現としてのファッションについて学び、ファッションやスタイルについて調べ、考えたことを発表しようとする。
No.4	Lesson 4 Our Future Food? コオロギを使用する昆虫食について対話を通して食料問題について学習する。	第4回 (6/30)	第4回	受け身を用いた文の形・意味を理解している。また、昆虫食について学び、自分の考えを整理する事が出来る。食糧問題について調べ、自分の考えを表現する。
NO.5	Lesson 5 Madagascar マダガスカルの人々との生活を通して、地球環境や生態系について学習する。	第5回 (7/15)	第5回	関係代名詞 who, which, that を用いた文の形・意味を理解している。マダガスカルについて学び、地球の自然環境について考え、自分の考えを周囲に伝えようと試みる。

No. 6	Reading 1 The Fun They Had 未来の機械化された学校と生徒の日常についての物語を読み、登場人物の心情を読み取る。	第 6 回 (7/30)	第 6 回	英文の内容を読み取ることが出来る。また登場人物の心情を考え、創造する事が出来る。また聞いている人に伝わりやすい様、読む事を試みる。
No. 7	前半のまとめ①	第 1～6 回 (7/30)	第 7 回	前半の重要な単語・イディオム・文法をプリント学習にて復習する。 ヒアリング力の強化を図る。
No. 8	前半のまとめ②		第 8 回	前半の重要な単語・イディオムを使い、正誤問題や英作文の練習をプリント学習にて復習し、文法の定着を図る。
No. 9	Lesson 6 The Mystery of the Terracotta Warriors 古代の中国を統一した秦の始皇帝の業績と彼が残した兵馬俑について学習する。	第 7 回 (9/15)	第 9 回	関係代名詞 (who, which) の非制限用法を用いた文の形・意味を理解している。また、古代中国を統一した秦の始皇帝の業績と彼が残した兵馬俑について学び、わかったことを発表しようとする。
No. 10	Lesson 7 Green Challenges 地球温暖化と再生可能エネルギーについての発表を通して、これからのエネルギー問題とその解決方法について学習する。	第 8 回 (9/30)	第 10 回	比較表現を用いた文の形・意味を理解している。地球温暖化と再生可能エネルギーについての各国の取り組みを学習する。グラフから読み取る。自分の考えを整理し相手に伝える事が出来る。
No. 11	Lesson 8 Witness of War 原爆投下により被爆した広島路面電車とその運転手だった女子学生の経験を通じて戦争の悲惨さを考える。	第 9 回 (10/15)	第 11 回	名詞を後ろから説明する分詞を用いた文の形・意味を理解している。また、原爆投下により壊滅的だった広島街で復興の為、動き出した路面電車の話を学び、平和の大切さを学ぶ。平和について、自分の考えを英語で発表しようとする。
No. 12	Lesson 9 The wonders of Lightning 海外の高校生に向けたオンラインの発表を通して、雷の発生の仕組みや避難方法、地球温暖化との関係について学習する。	第 10 回 (10/30)	第 12 回	仮定法過去を用いた文の形・意味を理解している。また雷や異常気象について学び、地球温暖化との関係も学習する。相手の意見を聞き、自分の意見を述べる事が出来る。
No. 13	Lesson 10 Katherine 's Long Journey 人種差別の壁を乗り越えて、米国の宇宙開発に貢献したアフリカ系アメリカ数学者、キャサリン・ジョンソンさんを学習する。	第 11 回 (11/15)	第 13 回	関係代名詞 whose を用いた文の形・意味を理解している。また、人種差別の壁を乗り越えて、米国の宇宙開発に貢献したアフリカ系アメリカ数学者でもあるキャサリン・ジョンソンについて学ぶ。社会に影響を与えた人物に関して興味を持ち、調べ学習を行い、分かったことを

				表現する。
No.14	Lesson 11 Table for Two ディケンズの本に書かれたような若い男女の2度の巡り合いの物語を読み、登場人物の心情を読み取る。	第12回 (11/30)	第14回	物語を読み、各場面の状況や登場人物の心情が聞いている者に伝わりやすいように読む要点を捉える。またイントネーションに気をつけ、抒情的に読む事が出来る。
No.15	後半のまとめ①	第7～12回 最終提出： (11/30)	第15回	後半の重要な単語・イディオム・文法をプリント学習にて復習し、理解する。ヒアリング力の強化を図る。
No.16	後半のまとめ②	提出予備日： (1/15)	第16回	後半の重要な単語・イディオムを使い、正誤問題や英作文の練習をプリント学習にて復習し、文法表現を理解する。

2 評価の観点

知識・技能	目的や場面、状況、相手の反応などを踏まえた上で、適切な語彙や表現などを選択して活用するために必要な技能を理解する。
思考・判断・表現	精査した情報を基に自分の考えを形成し、文章や発話によってアウトプットし、目的や場面、状況等に応じて互いの考えを適切に表現しあう。
主体的に学習に取り組む態度	意欲的にレポート作成に取り組み、スクーリングに出席し身近な事象をもとに、英語を用いて伝え合う探究活動をしようとしている。

3 評価の方法

スクーリングへの出席（取り組む姿勢）、レポートの提出（レポートの内容）、試験結果を総合的に判断し、評価する。

4 担当者からのメッセージ

コミュニケーション英語では、スクーリングへの出席（取り組む姿勢）、レポートの提出（レポートの内容）、試験結果を総合的に判断し、評価します。面接指導だけで教科書の全範囲を解説することは難しく、一回の説明の速度も速いものです。教科書を読み、各回の範囲を予習し、レポートをできるだけ完成させた上で面接指導にのぞむことを推奨します。また、NHK 高校講座「コミュニケーション英語 III」の視聴も役立ちますので、活用してください。